

**石川啄木記念館・玉山歴史民俗資料館整備  
基本計画**

**令和3年2月  
盛岡市教育委員会**

## 目次

<b>I 計画の背景</b> .....	1
1 盛岡市・玉山地域の現状 .....	1
2 盛岡市・玉山地域のまちづくり .....	2
3 既存計画の経緯等 .....	2
<b>II 基本理念</b> .....	4
1 石川啄木記念館の基本理念 .....	4
2 玉山歴史民俗資料館の基本理念 .....	4
3 本事業でめざす姿 .....	5
<b>III 事業活動計画</b> .....	6
1 資料収集・保存事業 .....	6
2 企画展示等事業 .....	6
3 市民向け体験・学習支援事業 .....	6
4 アーカイブ・情報発信等事業 .....	6
5 他施設との連携事業 .....	6
<b>IV 施設整備計画【現記念館大規模改修+増築】</b> .....	7
1 整備予定地 計画区域の把握 .....	7
(1) 施設の位置 .....	7
(2) 法的規制等 .....	10
2 施設の全体構成 .....	11
(1) 施設配置 .....	11
(2) 施設周辺環境 .....	12
(3) 施設イメージ .....	13
(4) 施設整備に伴う周辺地域への効果 .....	14
3 施設の機能構成 .....	15
(1) 施設機能における留意点 .....	15
(2) 施設機能の全体構成 .....	15
(3) 諸室の概要 .....	16
(4) 施設機能構成図 .....	18
(5) 諸室の一覧 .....	19
(6) 施設をだれもが安全・円滑に利用するために .....	20
<b>V 展示計画</b> .....	21
1 常設展示－石川啄木記念館 .....	21
(1) 石川啄木記念館の展示の基本方針 .....	21
(2) 石川啄木記念館の展示構成 .....	21

2	常設展示－玉山歴史民俗資料館	22
(1)	玉山歴史民俗資料館の展示の基本方針	22
(2)	玉山歴史民俗資料館の展示構成	22
3	企画展示	23
(1)	企画展示の基本方針	23
<b>VI</b>	<b>管理運営計画</b>	<b>24</b>
1	管理運営の基本的な考え方	24
(1)	運営の基本方針	24
(2)	運営手法	24
2	運営組織の基本的な考え方	24
(1)	運営組織の基本方針	24
(2)	組織体制	24
3	施設保有の最適化・長寿命化の方針	25
(1)	ライフサイクルコストの検討	25
(2)	公共施設保有の最適化	26
<b>VII</b>	<b>今後の予定</b>	<b>27</b>
1	整備スケジュール	27
2	財源等の検討	27
(1)	財源	27
(2)	施設規模	27
<b>VIII</b>	<b>参考資料</b>	<b>28</b>
1	既存施設の現状と課題	28
(1)	石川啄木記念館	28
(2)	玉山歴史民俗資料館	28
2	既存施設の入館者数	33
3	石川啄木に関する地域資源	35
4	玉山地域の歴史・民俗に関する地域資源	38
5	玉山地域の文化財	41
6	地域住民等の意識調査	43
(1)	啄木に関する市民活動・取組みについて	43
(2)	啄木以外の市民活動や取組みについて	43
(3)	玉山地域の既存施設の現状について	43
(4)	新施設への要望について	43
(5)	地域特性や歴史、資源について	44
(6)	その他の要望について	44
7	玉山歴史民俗資料館・石川啄木記念館 基本計画策定懇話会委員名簿	45

# I 計画の背景

## 1 盛岡市・玉山地域の現状

盛岡市のまちづくりは、16世紀末からの南部氏による盛岡城築城に始まり、江戸時代を通じて城下町として発展しました。その後、明治22(1889)年には市制を施行し、人口29,190人、面積4.47km<sup>2</sup>の県都盛岡市が誕生しました。

市内から眺望できる岩手山、姫神山、市内を流れる北上川、雫石川、市街地を囲む田園地帯や丘陵地など、豊かな自然や優れた景観を有しています。また、県都として多くの都市機能が集積するとともに、高速交通の結節点としての優位性を持っています。こうした自然環境と都市機能の調和のもとに、城下町として発展する中で先人が育んできた歴史や文化、美しいまち並み、温かい人情など、さまざまな魅力を備えています。

平成4(1992)年4月には南に隣接する都南村と、平成18(2006)年1月には北に隣接する玉山村と合併して市域が拡大し、人口約30万人、面積886.47km<sup>2</sup>の新生盛岡市となり、平成20(2008)年4月には中核市へと移行しました。

また、本施設が立地する玉山地域(旧玉山村)は、昭和29(1954)年4月、町村合併促進法に基づいて、玉山村藪川村組合村と渋民村が合併し、玉山村と村名を定め、翌昭和30(1955)年6月、玉山村に巻堀村を編入し、その後、平成18(2006)年に盛岡市と合併し、現在に至っています。

この地域は、盛岡市の北東に位置し、397.32平方キロメートルの広大な区域を誇り、標高160mから1,200m余りにわたる起伏に富んだ地形をしており、約80%を占める山林の東部一帯は北上高地が広がり、自然豊かな美しい地域です。

岩洞湖岸にある小石川遺跡は、今から1万数千年前の旧石器時代の遺跡で、このころから人類の活動があったことが証明されました。つづく縄文時代、弥生時代、そして中央政権から蝦夷(エミシ)といわれた歴史時代を経て現在にいたるまで、たゆまぬ先人の努力と英知によって発展してきました。奥州藤原三代が栄華をきわめた時代には、黄金と馬の主産地であったといわれています。旧村内には、これまでの歴史を物語る有形、無形の文化遺産が残され今に伝えられています。また、明治19(1886)年、この地域で生まれ、26歳の生涯を閉じた天逝の文学者、石川啄木のふるさとでもあります。

## 2 盛岡市・玉山地域のまちづくり

盛岡市では、盛岡市総合計画において、目指す将来像として『ひと・まち・未来が輝き世界につながるまち盛岡』を掲げ、市民の誰もがいきいきと暮らし、人の営みを支える産業やにぎわいがまちに活力を生み、盛岡らしさをいかしながら新しい魅力を生み出し、未来に引き継いでいくとともに、市民が盛岡のまちに誇りを持ち、世界の中で盛岡らしさを発揮できる世界につながるまちを目指し、その実現のために、「人がいきいきと暮らすまちづくり」「盛岡の魅力があふれるまちづくり」「人を育み未来につなぐまちづくり」「人が集い活力を生むまちづくり」の4つの基本目標を定めています。

玉山地域の渋民地区では、まちづくりの目標として『詩情あふれる自然と詩人・歌人のつどう啄木の故郷』を掲げ、基本方針の一つを「啄木の故郷として地域資産を活かした詩歌と観光のまちづくり」としています。石川啄木記念館やゆかりの史跡、豊かな自然や美しい景観といった地域資産をつなぐことにより、魅力ある観光地の形成を図るとともに、観光施設の整備やボランティア観光ガイドなど、地域が一体となった魅力ある啄木の故郷の創出、道の駅を整備することにより、地域の利便性の向上と、観光拠点としての魅力を高めることをめざしています。一方、好摩地区では、まちづくりの目標を『懐かしくも新しい独自の生活文化の薫るまち好摩』とし、歴史文化に根差しながら、地場産業の活用や、身近な自然や美しい景観をはじめとする地域資産との連携、世代間交流や結のコミュニティの形成などにより、住民自身が自らの地域を誇れる魅力あるまちづくりをめざしています。

## 3 既存計画の経緯等

玉山歴史民俗資料館については、平成 18（2006）年 1 月の盛岡市と玉山村の合併にあたり策定した「盛岡市・玉山村新市建設計画」（以下「新市建設計画」という。）において、玉山地域における歴史民俗資料館建設事業が主要事業として位置づけられ、施設の建替えを進めることとなりました。

一方、石川啄木記念館については、現施設の建設当初から所有・管理していた財団法人石川啄木記念館が、平成 25（2013）年 11 月末に法人解散となったため、同年 12 月から市が引き継いで、指定管理者による管理運営を行っています。

その後、「新市建設計画」の見直しが検討され、平成 27（2015）年 12 月の計画変更において石川啄木記念館の整備が加えられ、事業名が「玉山歴史民俗資料館・石川啄木記念館整備事業」と変更になりました。

一方、盛岡市は、公共施設アセットマネジメントへの取組として、盛岡市公共施設保有最適化・長寿命化中期計画（平成 28（2016）年 3 月）において、玉山歴史民俗資料館

と石川啄木記念館は、建替えによって複合化し、既存の資料館は、廃止・解体する方針としました。

また、同様の時期に盛岡市教育委員会は、玉山歴史民俗資料館建設方針検討会で意見を伺いながら、玉山歴史民俗資料館・石川啄木記念館建設方針（平成 28（2016）年 3 月）を策定し、延床面積が約 2,000 m<sup>2</sup>の複合施設を整備することとしました。

しかしながら、建設方針における施設規模は、公共施設保有の最適化と長寿命化のための基本方針（平成 25（2013）年 6 月）や、盛岡市公共施設保有最適化・長寿命化長期計画（平成 26（2014）年 12 月）等において、施設保有の最適化及び長寿命化を図ることとされていることから、これら上位の基本的な方針等との調整を図りながら、石川啄木記念館・玉山歴史民俗資料館の整備事業を進めていく必要があります。

## Ⅱ 基本理念

### 1 石川啄木記念館の基本理念

**「もりおか」が生んだ文学者・石川啄木の功績を顕彰、発信し、  
施設を核とした人びとの交流・回遊を促す**

称える

石川啄木の研究を進め、文学者以外にも思想家や教育者などとして活躍した業績・功績を多角的に評価・顕彰する。

伝える

石川啄木の多彩な作品を紹介し、その感性や知性に対する共感をひろげる。

繋げる

石川啄木の魅力を国内外に広く発信し、啄木を介した地域内外の幅広いネットワークを構築する。

### 2 玉山歴史民俗資料館の基本理念

**「たまやま」の歴史や先人たちの暮らしに出会い、学び、  
触れ合うなかで、郷土への愛着を育む**

まもる

資料館開設から収集・保存されてきた資料をはじめ、「たまやま」に継承されてきた歴史文化資源を保存・収集し、未来へ継承する。

みがく

「たまやま」の歴史や文化、民俗の調査・研究を通して、そのオンリーワンの価値を再発見し、地域の魅力をさらに高める。

つくる

地域ならではの魅力の発信を通じて、「たまやま」を愛する人びととの連携の構築、未来づくりを担う人材の育成につなげる。

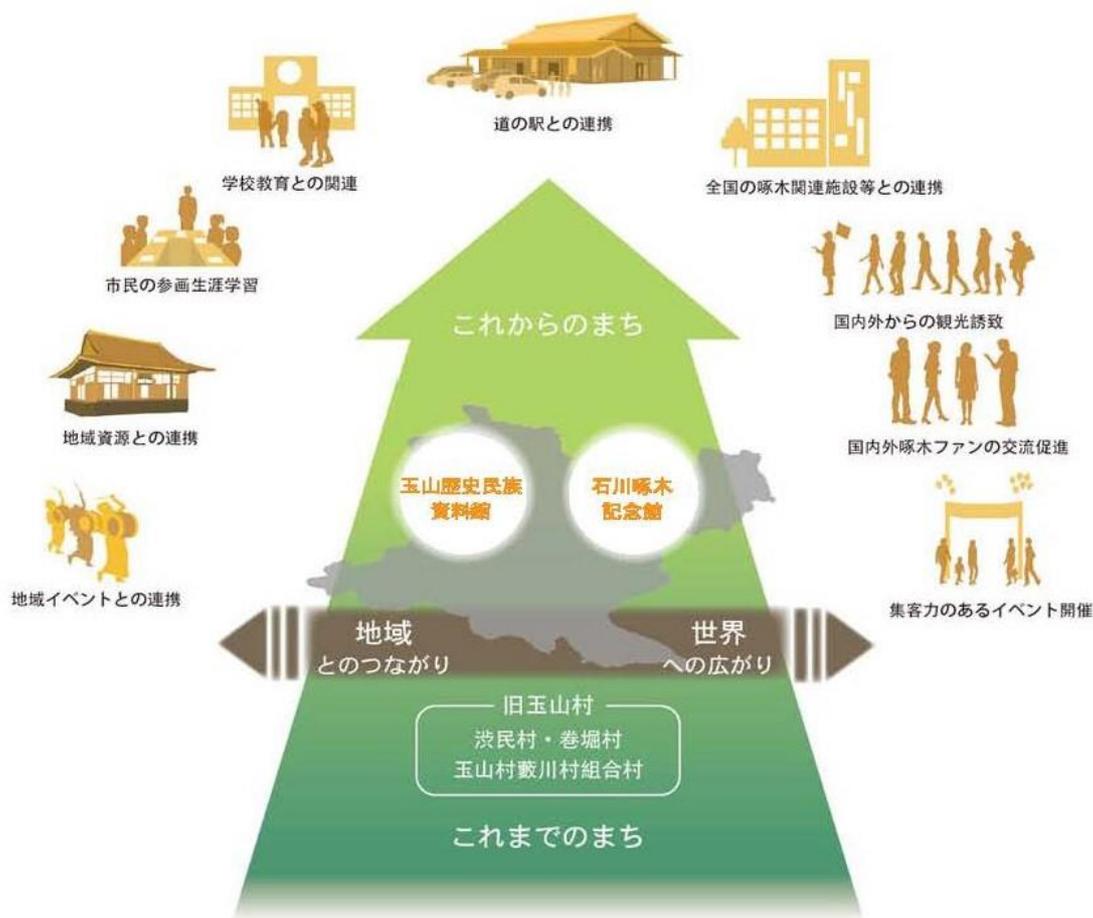
### 3 本事業でめざす姿

## 石川啄木の魅力を国内外に発信し、 ふるさとの歴史を継承する賑わいあふれる拠点

石川啄木の顕彰と資料収集・保存、情報提供を目的に、啄木ゆかりの人びとが中心となり、故郷の浜民に建設された「石川啄木記念館」、巻堀小学校 100 周年を記念し、約 40 年前に地域住民の発意で建設された「玉山歴史民俗資料館」。

本事業においては、性格の異なる 2 施設がもつ歴史を大切にするとともに、それぞれの個性を十分に発揮し、近くに整備が予定されている道の駅との連携を図りながら、地域振興に資する施設整備をめざします。

#### 【めざす姿のイメージ】



## Ⅲ 事業活動計画

### 1 資料収集・保存事業

石川啄木の業績、玉山地域の歴史文化を将来にわたって継承するため、必要な資料を収集し、適切な環境で保存します。また、調査研究や展示公開、さらには地域学習等との連携などにより、資料が持つ価値や可能性を最大限に発揮します。

### 2 企画展示等事業

企画展示は、石川啄木記念館、玉山歴史民俗資料館それぞれでの研究成果を発信する場と位置づけます。また、関連機関と企画展示を共催などにより、常設展示とは違う切り口で地域の歴史や文化、民俗の魅力を幅広く発信します。

### 3 市民向け体験・学習支援事業

学芸員や専門家と市民が一体になって、啄木ゆかりの地で開催する短歌会、玉山地域の歴史や文化、民俗についての探究活動や地域の各所を巡るまちめぐりイベントなど、地域資源を幅広く活用したイベントやプログラムの開発を行います。

また、「生涯学習」と「学校教育」の支援に加えて、歴史や文化、民俗に関わる市民団体が自主的に利用できる場を提供するなど、これまで自主的に行われてきた市民団体による活動の活発化を図ります。

### 4 アーカイブ・情報発信等事業

石川啄木の業績や玉山地域の歴史、文化、民俗を示す資料を収集・保存するとともに、その魅力をひろく発信するため、それぞれの資料がもつ価値や可能性を最大限に活用します。また、資料は分類整理してデータベース化し、幅広い利用につなげます。

### 5 他施設との連携事業

道の駅等との連携を図りながら、より多くの市民や観光客が訪れる施設となるよう努めます。

## IV 施設整備計画【現記念館大規模改修+増築】

### 1 整備予定地 計画区域の把握

#### (1) 施設の位置



計画の対象 岩手県盛岡市浪民字浪民9（市有地）

計画の対象区域 約 12,000 m<sup>2</sup>

#### ア 現在の課題と整備計画の基本方針

##### (ア) 現在の課題

- ・石川啄木記念館は、鉄筋コンクリート造平屋建で、建築後、約 33 年が経過し、施設の経年劣化、トイレの環境、収蔵庫や調査研究の成果を展示するスペースの不足が課題となっています。
- ・玉山歴史民俗資料館は、鉄筋コンクリート造平屋建で、建築後、約 42 年が経過し、施設の経年劣化のほか、収蔵庫や展示室のスペースの不足等が課題となっています。

##### (イ) 基本方針

現在の石川啄木記念館の建物を生かしながら、隣接して増築棟を整備し、石川啄木記念館と玉山歴史民俗資料館の複合施設とします。

## イ 周辺地域

東南から南方面に、宝徳寺とその管理墓地のほか、民家や生活道路があり、南から南西方面には市道路、西方面は旧国道4号に接しています。また、北方面は市が管理する勤労者研修センターや公衆トイレが設置されているほか、隣接して大橋川が流れています。

## ウ アクセスおよび周辺道路網

対象地域は、IGR いわて銀河鉄道渋民駅から東へ2.6 kmに位置し、車で約5分、徒歩で約30分の場所に位置し、近くを路線バスが運行しています。(最寄りのバス停留所名：啄木記念館前) また、自動車で東北自動車道滝沢インターチェンジから約10分 国道4号盛岡方面からは約30分となっています。



	現状	複合施設整備後（要調整）
記念館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 石川啄木記念館</li> <li>a 土地（宅地等）</li> <li>b 主な建物               <ul style="list-style-type: none"> <li>(a) 現石川啄木記念館</li> <li>(b) 旧石川啄木記念館</li> <li>(c) 旧渋民尋常小学校</li> <li>(d) 旧齊藤家</li> <li>(e) 緑地等その1</li> <li>(f) 緑地等その2</li> <li>(g) 駐車場</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>→ 宅地等</li> <li>→ 大規模改修</li> <li>→ 解体撤去</li> <li>→ 現在地に存続</li> <li>→ 現在地に存続</li> <li>→ 一部、増築複合施設敷地に転用</li> <li>→ 現在地に存続</li> <li>→ 現在地に存続、一部中庭の拡張用地に転用</li> </ul>
資料館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 玉山歴史民俗資料館</li> <li>a 土地（宅地）</li> <li>b 建物</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>→ （更地）</li> <li>→ 解体撤去</li> </ul>

【既存施設敷地の転用と旧施設の処分方針】

## (2) 法的規制等

### ア 法的規制

- ・都市計画区域
- ・市街化区域
- ・近隣商業地域
- ・容積率 200%、建ぺい率 80%
- ・渋民地区 地区計画 B地区
- ・市街地景観計画区域

### イ 公共施設等の配置

#### (7) 道路

新たな道路整備計画はありません。

#### (4) 既存供給設備（ガス、電気）

- ・ガスは岩手県液化ガス事業協同組合とプロパンガスの契約をしています。
- ・電気は東北電力の送電網をつかい、伊藤忠エネクス株式会社と電力供給の契約をしています。

#### (5) 既存上下水道施設

- ・上水道本管は県道沿い歩道に鋳鉄管（内径 100mm）が、市道に鋳鉄管（内径 150mm）が埋設されています。
- ・下水道本管は敷地内の県道沿いに鋳鉄管（内径 75mm）が、市道沿いに硬質塩ビ配管（内径 200mm）が埋設されています。

#### (6) 消防設備 屋内消火栓

消防法で屋内消火栓の設置基準については、下記によります。

- ・その他建築物（木造等）の場合、延床面積 700 m<sup>2</sup>以上で屋内消火栓設置となります。
- ・屋内消火栓を設置の場合、展示室と収蔵庫については、不活性ガス消火設備（二酸化炭素放射タイプ）で検討を行います。

#### (7) 雨水（河川・水路）

北側の河川の護岸工事が計画されています。

#### (8) 傾斜地

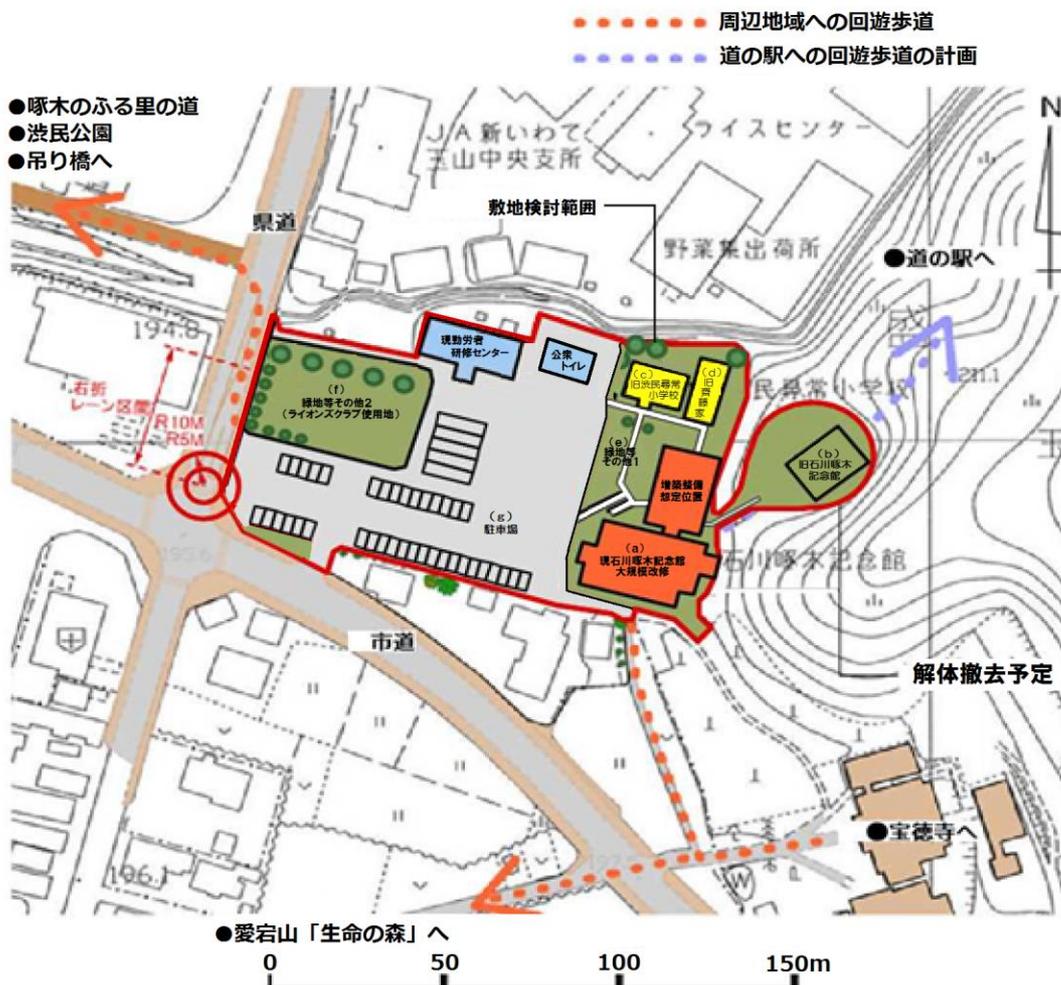
道の駅整備事業において、道の駅との連絡通路の整備が検討される見込みです。

## 2 施設の全体構成

### (1) 施設配置

石川啄木記念館と玉山歴史民俗資料館の複合施設とし、次のような規模を想定し、配置整備します。

- ・現石川啄木記念館約 560 m<sup>2</sup>の建物を大規模改修します。
- ・隣接して約 440 m<sup>2</sup>の別棟を増築整備します。
- ・複合施設は、延床面積約 1,000 m<sup>2</sup>を想定します。
- ・別棟の増築により減少する中庭の面積を確保するため、現在の景観に配慮しながら、可能な限り中庭を拡大し、再整備を行います。



#### 現状の各関連機関の指導内容

- ・警察署 → 交差点角より10m以内は右折入口は設けられない
- ・道路管理者 → 横断歩道より5m以内は右折入口は設けられない
- ・道路管理者 → 右折レーン区画の範囲には盛岡方面からの右折入口は設けられない

県道から敷地エリアへの車路、出入口の設置検討は各関連機関との別途、協議事項とする

## (2) 施設周辺環境

関係法令・規制を遵守するとともに、近隣住民への配慮を念頭に置き、岩手山や姫神山の景観軸を基調に、「旧渋民尋常小学校」や「旧齊藤家」をはじめとする周辺施設との回遊性に十分配慮した配置計画とします。加えて、建築からの車両誘導を計画します。

写真①

岩手山が見える施設配置。高さを考慮する



写真②

道路からのサイン誘導の整備を考慮する



写真③

交差点から認知向上できる施設配置とする



写真④

道路からのサイン誘導の整備を考慮する



写真⑤

現石川啄木記念館の施設配置を考慮する



写真⑥

現中庭の施設配置を考慮する



### (3) 施設イメージ

2館を一つの建物として次のような要素を取り込んだ施設イメージとします。



現石川啄木記念館  
564.95 平方メートル  
鉄筋コンクリート造



現玉山歴史民俗資料館  
132.52 平方メートル  
鉄筋コンクリート造



玉山地域の人々に愛され  
親しまれる施設として、  
玉山の歴史文化と  
石川啄木が愛した玉山の自然を  
取り込んだ建築



二つの展示施設を  
1つの建築物内に構成



二つの展示施設を  
管理運営での一体化

#### 周辺の主な建造物



コートランド姫神



洗民小学校



イオン



姫神ホール



コメリ

#### (4) 施設整備に伴う周辺地域への効果

玉山の歴史文化とそれに根ざした石川啄木をテーマとした新しい地域学習拠点、観光交流拠点となることが期待され、「啄木の里」の中心施設の一つとして位置づけられます。加えて、国道4号渋民バイパス沿いでは道の駅の整備が検討されており、相乗効果を発揮することが求められます。

さらに、本施設で市内観光資源や多彩なフィールド体験プログラムなどの情報発信機能などを新たに設けることで、全域での交流人口増加に貢献することも期待されます。



### 3 施設の機能構成

#### (1) 施設機能における留意点

- ア 石川啄木記念館、玉山歴史民俗資料館ともに、市民の生涯学習や交流の場としての役割を担います。
- イ 常設展示室は、それぞれに独立した常設展示を有し、展示を行うとともに建築ハード面での一体的な整備を目指します。
- ウ 歴史・文化・観光ガイド機能を設定し、全体的な統一性をもった施設構成とします。

#### (2) 施設機能の全体構成

##### ア 案内・サービスエリア

玉山地域の文化観光の拠点となるエリアです。文学と歴史・民俗を体感する展示、地域のフィールドや既存観光施設とのネットワーク情報、ミュージアムショップなどにより多様の体験を市民や観光客に提供します。

##### イ 展示エリア

石川啄木の文学と玉山地域の歴史・民俗をテーマとした展示・解説を行うエリアです。常設展示室は2館独立した構成とします。また、企画展示室は2館の共用機能として運営活用します。

##### ウ 多目的エリア

市民の活動を支援するエリアです。セミナーや体験学習が開催できる空間や設備を確保するとともに、それら資材の保管や準備作業のために活用します。

##### エ 学芸部門エリア

館職員が展示に係る収集、研究、発表活動を行う為のエリアです。学芸員室、作業準備室、収蔵庫などで構成します。ボランティアや市民インストラクターらが、体験活動の指導者として館運営に参加し、ミーティングや作業が出来るような施設も検討します。

##### オ 管理運営エリア

施設全体の維持、管理の為のエリアです。機械室などで構成します。

### (3) 諸室の概要

#### ア 案内・サービスエリア

##### (ア) エントランスホール

利用者を受け入れる空間としての必要な機能、規模を備えるとともに、コインロッカー、トイレ、休憩機能などを設けます。

##### (イ) 受付・インフォメーション

受付、案内、料金徴収など、利用者受け入れ窓口機能を整備します。加えて、地域周辺の見どころへと誘導し、地域回遊を促すための観光案内機能も備えます。

##### (ウ) ミュージアムショップ

文学や歴史・民俗を伝えるサービスの一環として、来館の記念となるグッズや展示図録等を販売します。

##### (エ) 休憩コーナー

展示見学や講座学習の参加に際し、休息を取るスペースとします。

##### (オ) トイレ・授乳室

ファミリーや高齢者、観光客の利用を想定し、本施設にふさわしい内装機能などを設けます。

#### イ 展示・多目的エリア

- ・ 石川啄木記念館
- ・ 玉山歴史民俗資料館
- ・ 企画展示室
- ・ 多目的スペース
- ・ レファレンスルーム

#### ウ 学芸部門エリア

##### (ア) 収蔵庫・前室

歴史系、民俗系、文学系など、各分野の資料を中心に収蔵します。

これらの資料については、必要に応じ、別の場所に保管場所を確保します。

##### (イ) トラックヤード・荷解き

収集資料や他館からの借用資料及び関連資材の搬出入、仮置き場を設けます。

##### (ウ) 作業準備室

体験学習に必要な材料、工具、その他備品を保管、準備する部屋を設けます。

##### (エ) 資材倉庫

館の運営、特に体験学習に必要とされる資材関連を保管する倉庫を設けます。

(オ) 学芸員室

調査研究活動や館内での展示などにより情報提供、館外への情報発信のためのコンテンツの制作拠点として、必要な諸設備を整えます。

(カ) 事務室

受付に近い場所でエントランスホールの見通しや来館者の動向が感じられる場所に配置します。

(キ) ボランティア室

事務室と隣接する場所に市民ボランティアのための休憩・執務スペースを配置します。

(ク) 書庫

各種研究や調査と連動した関連図書、新規収集資料などを保管します。

エ 管理運営エリア

(ア) 倉庫

施設の管理運営に必要な機材、備品を保管します。

(イ) 通用口

館職員及び従事者専用として、一般来館者とは別の出入口を、設けます。

(ウ) 機械室

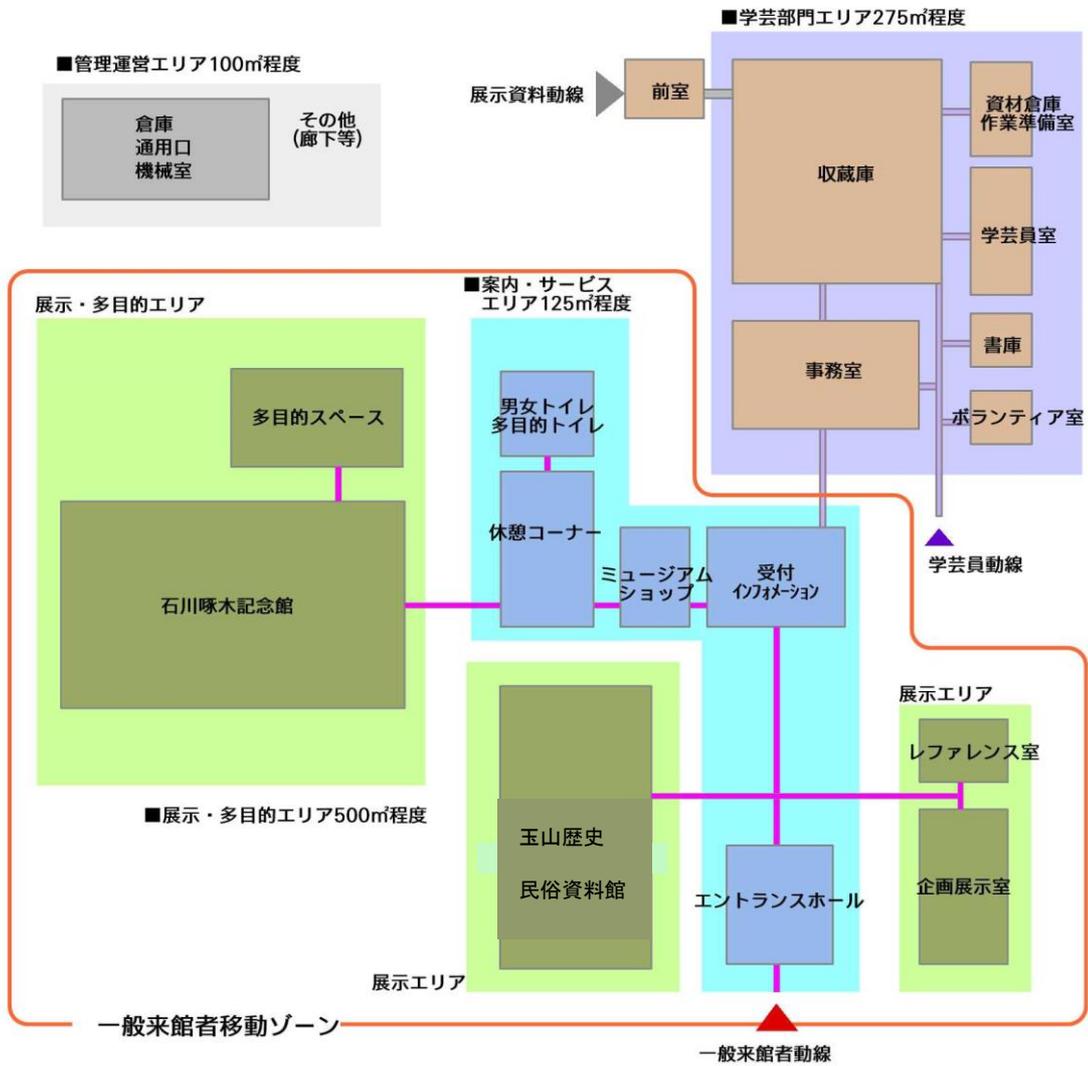
電気や空調機械設備、その他建物を維持管理するために必要な設備を設置、管理します。

(エ) その他

廊下、階段

#### (4) 施設機能構成図

施設機能の全体構成と動線の考え方は、以下の図の通りとなります。



※諸室の配置と面積は、基本設計時に詳細を検討します。

(5) 諸室の一覧

エリア	諸室	概要	面積 (平方メートル程度)
案内・サービス			125
	エントランスホール	利用者を受け入れる空間	
	受付・インフォメーション	受付や案内窓口、観光案内 ガイドンス等	
	ミュージアムショップ	グッズや図録、書籍を販売	
	休憩コーナー	自動販売機等	
	トイレ・授乳室		
展示・多目的			500
	石川啄木記念館	石川啄木の生涯や業績を展示	
	玉山歴史民俗資料館	地域の歴史や文化を展示	
	企画展示室	上記2館で共有利用	
	多目的スペース	体験学習等の活動に利用	
	レファレンスルーム	一般向け図書の閲覧スペース	
学芸部門			275
	収蔵庫・前室	各種資料の収蔵スペース	
	トラックヤード・荷解き	資料資材の搬出入スペース	
	作業準備室	体験学習などの準備に利用	
	資材倉庫	各種必要素材の保管スペース	
	学芸員室	学芸員の事務研究スペース	
	事務室	事務スタッフの執務スペース	
	ボランティア室	ボランティアの休憩・執務ス ペース	
	書庫	専門性の高い関連資料を保管	
管理運営			100
	倉庫	必要機材や備品を保管	
	通用口	関係者用の出入口	
	機械室	各種機械設備の設置スペース	
	その他	廊下や階段など	
合計			1,000

※諸室の配置と面積は、基本設計時に詳細を検討します。

## (6) 施設をだれもが安全・円滑に利用するために

私たちの社会では、高齢者、障がい者、傷病者や妊産婦など、日常生活や社会生活をおくるうえで、様々な行動上の制限を受ける多くの人たちが、共に暮らしています。

それらの方々をはじめとするすべての人々が個人として尊重され、あらゆる活動に参加する機会が保障される地域社会づくりを目的として施設整備を行っていきます。

【「ひとにやさしいまちづくり条例」の基準】（岩手県 平成 20 年 4 月 1 日施行）

### ・ 出入口

出入口の幅 80 cm 以上とします。

屋外への出入口には屋根、ひさしなどを設けます。

### ・ 廊下

廊下の幅 120 cm 以上とします。

車椅子の回転に支障の無い場所を 50m 以内ごとに設けます。

### ・ スロープ

屋内スロープの勾配を 1/12 以下、外部については、1/15 以下とします。

スロープの幅 120 cm 以上確保します。

上端に近接する廊下等の部分には点状ブロック等を設置します。

### ・ トイレ

多目的トイレの設置を行います。

出入口の幅 80 cm 以上とします。

手洗いには、蹴込みを設ける様にします。

乳幼児用のイス設置を 1 か所以上とします。

### ・ 案内設備

おもいやり駐車場、多目的トイレの位置を示した案内設備を設置します。

### ・ 駐車場

おもいやり駐車施設の幅 350 cm 以上確保します。

おもいやり駐車施設を積雪、落雪等に配慮した位置に設置します。

### ・ 敷地内の通路

排水溝の溝ふたは車椅子のキャスター等が落ち込まない様に配慮します。

通路の幅は 120 cm 以上とします。

### ・ 公園等

出入口、園路の幅は 120cm 以上とします。

スロープの勾配を 1/15 以下とします。

## V 展示計画

### 1 常設展示－石川啄木記念館

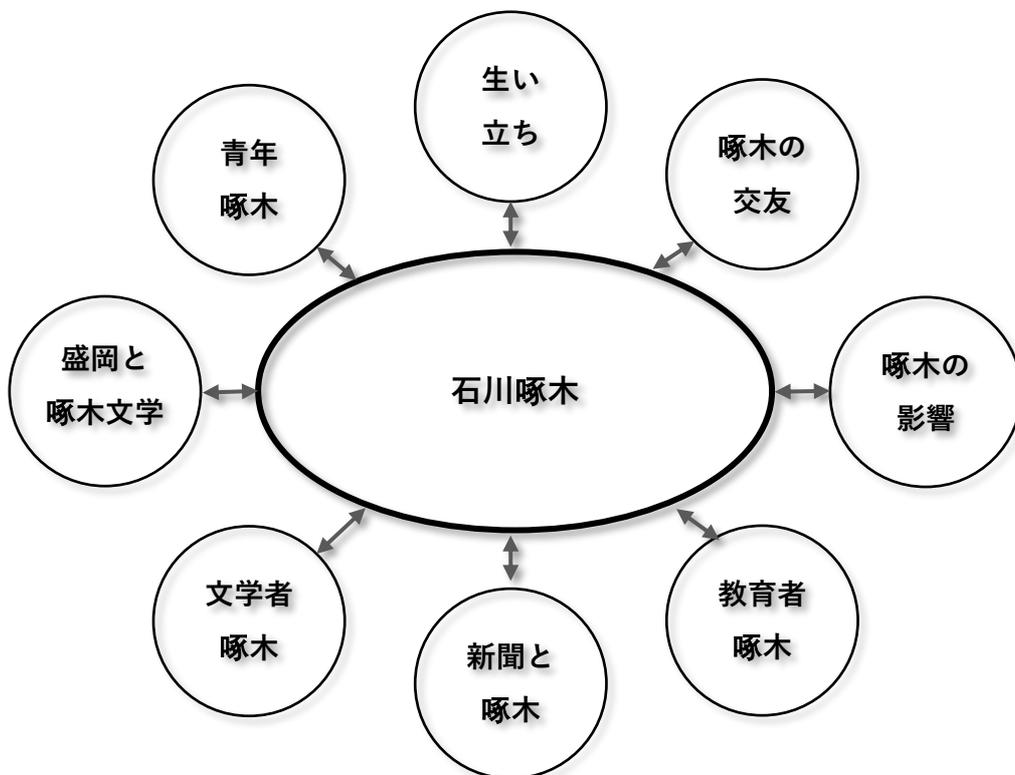
#### (1) 石川啄木記念館の展示の基本方針

- ・ 出身地ならではの視点で、石川啄木の生涯や作品の魅力を伝える展示
- ・ 石川啄木の業績や功績、多彩な活躍を、最新の研究成果も交えて紹介する展示
- ・ 石川啄木が著した文学世界や当時の啄木の暮らしなどを体験的な手法も交えて伝えることで、啄木への親しみを醸成する展示

#### (2) 石川啄木記念館の展示構成

### 石川啄木の生涯を軸に、啄木の多彩な活躍と 後世への影響をたどる

26年間の生涯を軸に、啄木の文学世界に大きな影響を与えた故郷との関わり、この地で暮らした青年期のエピソード、幅広い交友などのテーマで啄木の魅力に迫る展示構成とします。



## 2 常設展示－玉山歴史民俗資料館

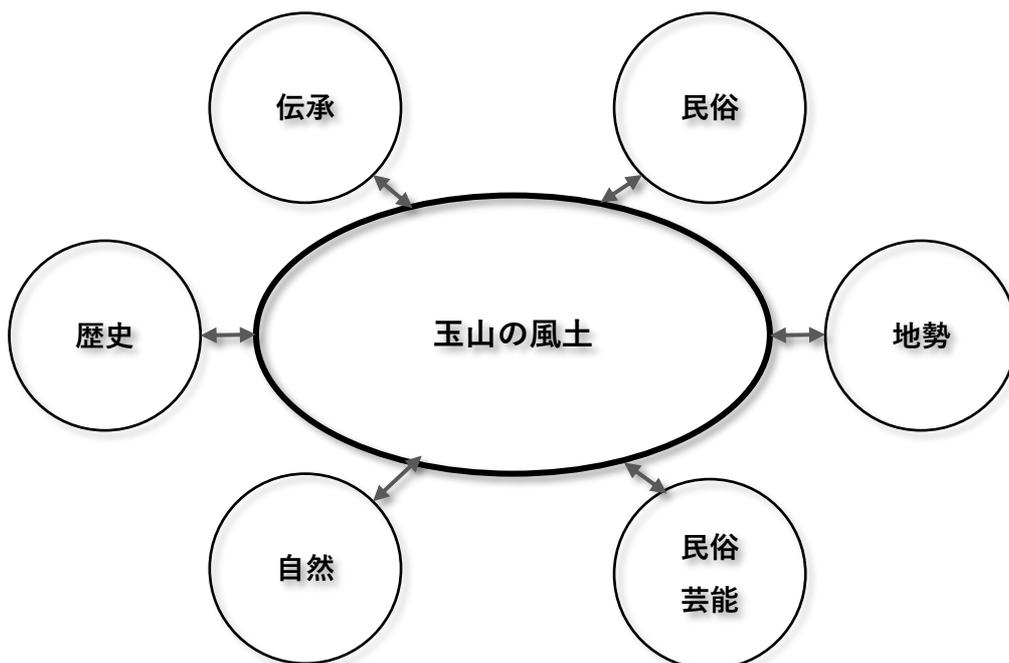
### (1) 玉山歴史民俗資料館の展示の基本方針

- ・ 藪川や洪民、巻堀、玉山など、玉山地域を構成する各地区の魅力を伝える展示
- ・ 玉山の人びとの暮らしを中心に、自然や文化の相互作用を幅広い視野で紹介する展示
- ・ 玉山の歴史や文化、民俗的な特徴を、体験的な手法も交えて分かりやすく伝える展示

### (2) 玉山歴史民俗資料館の展示構成

#### 玉山地域の風土、そして玉山の歴史をベースに、 多角的な視点でその魅力をひもとく

地勢・風土を入口に、原始・古代から現在に至る玉山地域の歴史をベースに、自然や伝承、芸能、民俗などのテーマで、玉山の魅力に迫る展示構成とします。



### 3 企画展示

#### (1) 企画展示の基本方針

性格の異なる2施設の個性を発揮するとともに、互いに連携を図りながら、下記の内容でオリジナリティーのある企画展示を展開します。

- ・石川啄木や玉山地域の歴史や文化に関する話題を、多角的な視点で紹介する展示
- ・石川啄木や玉山地域の歴史や文化に関する最新の調査・研究成果を伝える展示
- ・市民による調査研究、学習成果などを、市民自らが企画・制作・発表できる展示
- ・市内外の関連機関との連携・共催による展示

## VI 管理運営計画

### 1 管理運営の基本的な考え方

#### (1) 運営の基本方針

性格の異なる2施設の歴史や特性、役割を踏まえ、互いに連携を図りながら、下記の方針で施設運営を行います。

- ・ 2施設の職員で方針を共有することによる効率的・効果的な施設運営
- ・ 来館者の興味関心やニーズを常に意識し、来館者に満足感を与える施設運営
- ・ 住民の積極的な参加を促し、住民の誇りとなる施設運営

#### (2) 運営手法

運営方式は、指定管理者方式（民営）を想定します。

### 2 運営組織の基本的な考え方

#### (1) 運営組織の基本方針

本施設における活動の根幹をなす館長や学芸員に加え、文学体験や玉山地域での歴史体験、地域学習へと誘う職員も適切に配置します。

また、本施設は、石川啄木記念館及び玉山歴史民俗資料館の二つの施設が併存する特色があるため、石川啄木を中心とした近代文学、玉山地域の歴史民俗という二つの分野それぞれに適切な学芸員を配置するなど、本施設に配置する職員数は、館長を含め7名程度を想定します。

加えて、地域住民との協働による施設運営を実現するため、開館前から計画的な市民ボランティアの組織化、育成にも積極的に取り組みます。

#### (2) 組織体制

本施設の運営にあたっては、石川啄木記念館と玉山歴史民俗資料館それぞれにおいて、館長以下4部門からなる組織体制を構築します。4部門がそれぞれの役割を果たし、施設全体として効率的・効果的な運営を実現することが求められます。

- ア 石川啄木部門（2名程度）
  - ・主に石川啄木記念館での展示企画
  - ・石川啄木の歴史・文学的研究
  - ・石川啄木とそれに関連する資料の収集・保存作業
  - ・市民との協働による研究
  - ・石川啄木・文学分野での教育普及
- イ 歴史民俗部門（1名程度）
  - ・主に玉山歴史民俗資料館での展示企画
  - ・玉山地域の歴史・民俗学的研究
  - ・歴史・民俗学的資料の収集・保存作業
  - ・市民との協働による研究
  - ・歴史・民俗学分野での教育普及
- ウ 教育普及部門（1名程度）
  - ・学校・市民団体等との連携
  - ・ボランティアの受入・育成等、市民協働の推進
  - ・講座・セミナーの企画
  - ・集客・交流イベントの企画
  - ・広報活動
  - ・ミュージアムグッズの開発
- エ 総務管理部門（2名程度）
  - ・スタッフの教育、スキルアップ
  - ・労務管理、会計処理
  - ・施設管理等

### 3 施設保有の最適化・長寿命化の方針

#### (1) ライフサイクルコストの検討

ライフサイクルコストは、初期費用（イニシャルコスト）と運用費用（ランニングコスト）からなります。建物竣工後から解体廃棄されるまでにかかるランニングコストは、イニシャルコストのおよそ3～4倍の費用がかかるといわれていますが、建物の運営や修繕・更新を計画性をもって行うことが必要です。

#### ア 整備費

本事業では、記念館と資料館の複合施設となりますが、施設機能の集約や共用化などとともに施設規模の適正化を図る必要があります。

#### イ 運用費

施設の特性上、展示物の維持管理のため、照明や空調などは細やかに制御する必要があります。積雪寒冷地の寒暖差の影響を軽減し、施設内環境を一定に保つために、十分な施設の断熱性能の確保や、太陽光による光・熱の影響を和らげる外壁や窓廻りのデザイン、設備機器への高効率機器の採用、制御の自動化など検討する必要があります。また、施設で消費するエネルギーを自前で賄えるよう、太陽光発電をはじめとした自然エネルギーの積極的な活用が必要です。

#### ウ 保全、修繕・更新

施設の長寿命化には、計画的な修繕・更新を行い、施設の性能と機能を維持する必要があります。建物の仕様は、耐久性と汎用性を重視し、設備機器の点検・更新が容易なスペースの確保や、機器搬出入が容易な動線の確保などの検討が必要です。

また、計画地における環境的な特性として積雪対策（除排雪方法、堆雪場の確保など）が必要です。

### (2) 公共施設保有の最適化

「盛岡市公共施設保有最適化・長寿命化長期計画」において、記念館・博物館を集約する方向性が打ち出されています。これは単に施設数を減らし施設維持管理費を削減するためだけではなく、施設の機能を複合化することで、相乗効果を生み出し観光拠点としての魅力を高めることも目的としています。展示機能の充実とともに、周辺観光などの情報の発信機能も備えた複合施設とするための検討も必要です。

## Ⅶ 今後の予定

### 1 整備スケジュール

- 令和2年(2020)年度 基本計画策定等
- 令和3年(2021)年度 建築・展示基本設計等
- 令和4年(2022)年度 建築・展示実施設計等
- 令和5年(2023)年度 建築工事等
- 令和6年(2024)年度 供用開始

### 2 財源等の検討

#### (1) 財源

合併特例債の活用を図ります。

#### (2) 施設規模

##### ア 規模に関する想定条件

敷地面積：約 12,000 m<sup>2</sup>

延床面積：約 1,000 m<sup>2</sup>

##### イ 概算事業費(令和2年3月時点)

約 8億円(税込)

(建築・展示設計、工事費)

※・費用は今後の調査、検討で、変わる可能性があります。

・工事期間中の展示物資料の移動、保管費用は含まれていません。

## VIII 参考資料

### 1 既存施設の現状と課題

#### (1) 石川啄木記念館

##### ア 現状

(ア) 土地（宅地等）：約 5,760 m<sup>2</sup>

(イ) 主な建物（既存）

(a) 現石川啄木記念館：鉄筋コンクリート造 564.95 m<sup>2</sup> (b) 旧石川啄木記念館

(c) 旧浜民尋常小学校 (d) 旧齊藤家 (e) 緑地等その1（旧齊藤家前）

(f) 緑地等その2（駐車場北西側ライオンズクラブ使用地） (g) 駐車場

##### イ 課題

施設の経年劣化が進んでいるほか、博物館として必要不可欠な収蔵庫が不十分なほか、企画展示室等もないため、必要な機能を備える必要があります。

特に、トイレの位置改善（段差解消）が必要です。



#### (2) 玉山歴史民俗資料館

##### ア 現状

(ア) 土地（宅地）：約 500 m<sup>2</sup>

(イ) 建物：鉄筋コンクリート造 132.52 m<sup>2</sup>

##### イ 課題

施設の老朽化と展示室内が手狭なため、限定的な公開となっています。また駐車スペースが少ない状況、トイレが未設置な状況を解消する必要があります。

※ 玉山小学校資料保管庫

土地 玉山小学校敷地内

建物 木造 約 198 m<sup>2</sup>（旧小学校校舎内）

【石川啄木記念館（展示室）】

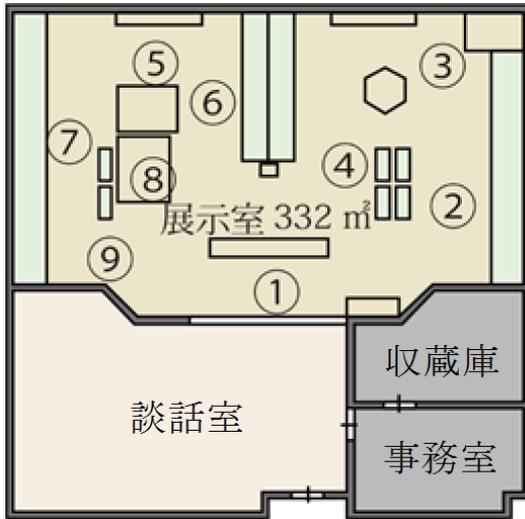
■建築面積：564.95 m<sup>2</sup>

（鉄筋コンクリート造平屋建）

■展示室：332 m<sup>2</sup>

壁付けケースと島ケース、展示ステージで構成。次の5つのテーマで石川啄木の人生を紹介している。

1. 啄木文学の揺籃・原点
2. あこがれの世界
3. 「林中」の生活
4. 北への漂泊
5. 東京時代



①



②



③



④



⑤



⑥



⑦



⑧



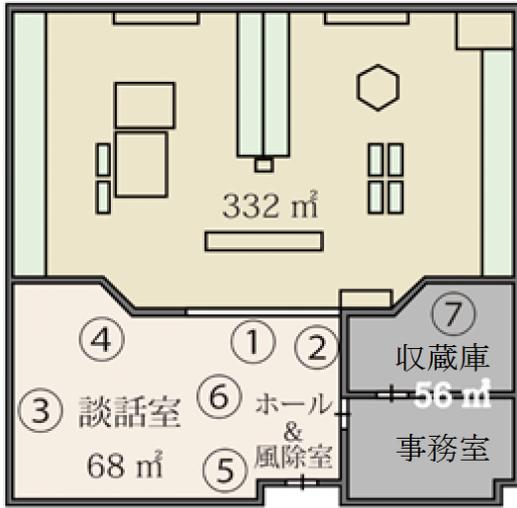
⑨



【石川啄木記念館（ホール・収蔵庫など）】

■事務室・収蔵庫：56 m<sup>2</sup>

一次資料の保管には桐筆筒1本を使用。  
 (横 1,200mm×縦 800mm×高さ 800mm 程度)  
 図書資料などの書庫、図録など販売・配布  
 品の倉庫としても兼用している。



③



④



①



②



⑤



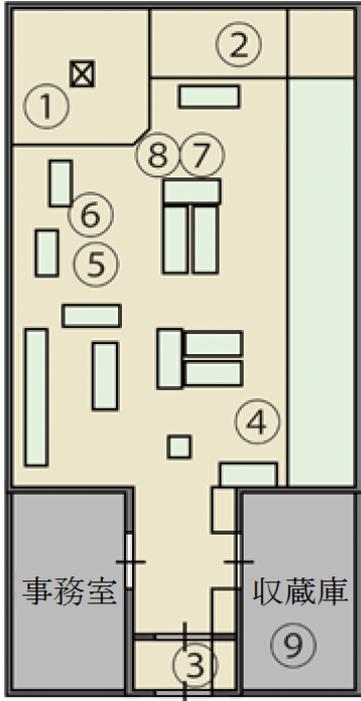
⑥



⑦収蔵庫



【玉山歴史民俗資料館】



■建築面積：132.5 m<sup>2</sup>

(鉄筋コンクリート造平屋建)

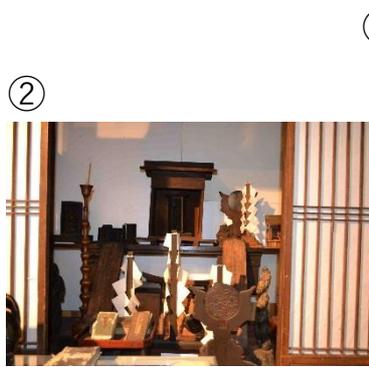
■展示室：約100 m<sup>2</sup>

壁付けケースと島ケース、展示ステージで構成

■資料点数：考古学資料 227 点、民俗資料 246 点、

歴史資料 155 点、蔵書 74 冊

■収蔵庫：約15 m<sup>2</sup>



【玉山小学校 資料保管庫】



■ 建築面積：約 198 m<sup>2</sup>（旧小学校校舎内・木造平屋建）

※古い農具を中心に生活道具が用途ごとに分類され、収集、  
 収蔵されているが、保存状態があまりよくない。



⑧



⑨



⑩



②



③



④



⑤



⑥



⑦



## 2 既存施設の入館者数

【石川啄木記念館の入館者数】

年度	来館者数	備考	年度	来館者数	備考
昭和 45	27,224	4/13 旧館開館	平成 7	54,062	
昭和 46	29,894		平成 8	67,906	
昭和 47	36,543		平成 9	46,595	
昭和 48	39,741		平成 10	40,377	
昭和 49	45,507		平成 11	35,735	
昭和 50	46,901		平成 12	38,953	
昭和 51	47,832		平成 13	32,707	
昭和 52	49,528		平成 14	31,377	
昭和 53	57,362		平成 15	28,070	
昭和 54	61,700		平成 16	23,966	
昭和 55	70,147		平成 17	20,946	
昭和 56	69,845		平成 18	24,160	
昭和 57	83,141		平成 19	22,035	
昭和 58	77,033		平成 20	17,758	
昭和 59	76,902		平成 21	16,261	
昭和 60	70,591		平成 22	16,574	3/11 東日本大震災
昭和 61	116,896	5/3 新館開館	平成 23	11,775	
昭和 62	92,107		平成 24	16,475	
昭和 63	83,664		平成 25	13,024	12/1 盛岡市運営開始
平成元	81,016		平成 26	11,906	
平成 2	71,849		平成 27	10,592	
平成 3	70,223		平成 28	10,889	
平成 4	62,681		平成 29	9,912	
平成 5	59,976		平成 30	9,127	
平成 6	55,698		令和元	9,260	
			合計	2,204,443	

【玉山歴史民俗資料館の入館者数】

年度	来館者数 (開館日数)	備考	年度	来館者数 (開館日数)	備考
昭和 59	1,243 (104 日)		平成 14	150 (15 日)	
昭和 60	1,107 (140 日)		平成 15	10 (4 日)	
昭和 61	1,149 (120 日)		平成 16	103 (6 日)	
昭和 62	984 (124 日)		平成 17	60 (5 日)	
昭和 63	916 (129 日)		平成 18	169 (23 日)	
平成元	2,573 (159 日)	特別展開催※	平成 19	126 (15 日)	
平成 2	610 (50 日)		平成 20	273 (43 日)	
平成 3	355 (41 日)		平成 21	193 (40 日)	
平成 4	297 (33 日)		平成 22	180 (26 日)	
平成 5	253 (35 日)		平成 23	104 (18 日)	
平成 6	206 (41 日)		平成 24	91 (10 日)	
平成 7	294 (32 日)		平成 25	132 (12 日)	
平成 8	239 (24 日)		平成 26	107 (16 日)	
平成 9	126 (6 日)		平成 27	88 (8 日)	
平成 10	146 (22 日)		平成 28	134 (11 日)	
平成 11	71 (7 日)		平成 29	68 (11 日)	
平成 12	150 (9 日)		平成 30	46 (8 日)	
平成 13	187 (7 日)		令和元	73 (7 日)	
			合計	13,013 (1,361 日)	

※平成元年度は特別展「八甲田山遭難展」を玉山中央公民館で開催

【玉山歴史民俗資料館の開館日】

- ・ 昭和 61～平成元年度：週 3 日開館（月・水・金）
- ・ 平成 2～平成 8 年度：週 1 日開館（金）
- ・ 平成 9 年度：要請に応じて開館
- ・ 平成 10 年度：週 1 日開館（金）
- ・ 平成 11 年度以降：入館申し込みがあった場合に開館

### 3 石川啄木に関する地域資源

#### ●岩手山（いわてさん）

盛岡市北西にそびえる標高 2,038m の県内最高峰の火山。啄木が少年時代を過ごした宝徳寺山門の正面にそびえ、毎日この山を眺めていたことが、後の作品などにも影響を与えています。

啄木にとって、岩手山は恋しさや思い出を象徴する「ふるさとの山」、神なる山として「ありがたき」山という存在で、母なる山の姫神山に対して、父なる山として捉えられていたと考えられます。



#### ●北上川（きたかみがわ）

岩手県から宮城県にかけて流れる一級河川で、流路の延長は 249 km、流域面積は全国 4 位の 10,150k m<sup>2</sup>を誇ります。

国内の河川としては勾配が少なく、ゆるやかな流れが特徴としてあげられます。

この川を詠った啄木の作品には、後に第一号歌碑にも刻まれる「やはらかに柳あをめる北上の岸邊目に見ゆ泣けとごとくに」があります。



#### ●姫神山（ひめかみさん）

「名さえやさしき姫神の・・・」と啄木も詠った玉山地域を代表する山。玉山のほぼ中央に北上川をはさんで岩手山と向かい合うように見える姫神山は標高 1,123.8m。ゆるやかな三角形にせりあがった優美な姿で、地元の人々は長い間、信仰の山、伝説の山として崇拝してきました。5月には可憐なスズランに彩られ、山菜も豊富です。



●愛宕神社（あたごじんじゃ）

総本社京都の愛宕神社の支社として建立されました。啄木は神社の周囲に広がる鎮守の森を「生命の森」と呼び、ここを散策しながら詩想を練っていました。また、森の下には、啄木が代用教員として教鞭をとった、渋民尋常小学校がありました。



（株）盛岡タイムス提供

●第一号啄木歌碑（だいいちごうたくぼくかひ）

北上川のほとりに広がる渋民公園には、大正 11（1922）年 4 月 13 日に建てられ、「やはらかに柳あをめる北上の岸邊目に見ゆ泣けとごとくに」の歌が刻まれた第一号啄木歌碑があります。



●鶴飼橋（つるがいばし）

啄木が長詩「鶴飼橋に立ちて」を詠んだ橋です。かつては童話にでも出てきそうな、人が通ると揺れる吊り橋でしたが、現在は近代的な橋に生まれ変わっています。とうとうと流れる北上川と岩手山が見えるすがすがしい風景は、啄木が生きていた時代から変わることがありません。



●常光寺（じょうこうじ）

明治 19（1886）年 2 月 20 日、啄木はこの寺に生まれ、一（はじめ）と名づけられました。現在は啄木の生まれた部屋が保存され、啄木生誕の碑が建てられています。



●宝徳寺（ほうとくじ）

啄木が幼少時代を過ごしたお寺で、境内には啄木の歌にも詠まれているヒバの木が茂っています。平成 12（2000）年の建て替えの際に啄木が使用した部屋が復元されました。



●旧渋民尋常小学校（きゅうしぶたみじんじょうしょうがっこう）

明治 17（1884）年に建てられた渋民尋常小学校。啄木は小学校時代にこの校舎で学び、11 年を経て代用教員として教壇に立ちました。現在は記念館の敷地内に移築されています。啄木は日本一の代用教員を目指して教育に情熱を注ぎ、この小学校をモデルに『雲は天才である』の小説を書きました。



●旧齊藤家（きゅうさいとうけ）

明治 39（1906）年 3 月から翌年の 5 月まで、代用教員時代の啄木が一家で下宿していた家屋です。元は街道（旧国道 4 号）沿いにあった藩政時代の宿場として利用されていました。



●好摩駅（こうまえき）

啄木が渋民で育った頃には、まだ渋民には駅がなく、盛岡中学時代や上京する際には、好摩駅を利用していました。啄木が最後に好摩駅に立ったのは、明治 40（1907）年 5 月 4 日、渋民村を追われ、函館へと旅立った時です。現在では「霧ふかき好摩の原の駐車場の朝の虫こそすずろなりけれ」の歌が刻まれた歌碑が駅舎の中に建てられています。



I G Rいわて銀河鉄道（株）提供

#### 4 玉山地域の歴史・民俗に関する地域資源

##### ●姫神山（ひめかみさん）

姫神山は、岩手山と向かいあうようにたたずみ、標高 1,123.8mの美しく緩やかな眺めは、玉山地域のシンボルとなっています。

毎年5月の第3日曜日には山開きが開催され、登山ファンで賑わいます。

姫神山は長い間地元の人々が信仰を寄せていた霊山としても知られ、巨石群は山伏に連れられてお参りした「お山掛け」の札所だったとも伝えられています。また、かつては黄金の山として栄え、近くには多くの金山跡が残っています。



##### ●外山御料牧場（そとやまごりょうぼくじょう）

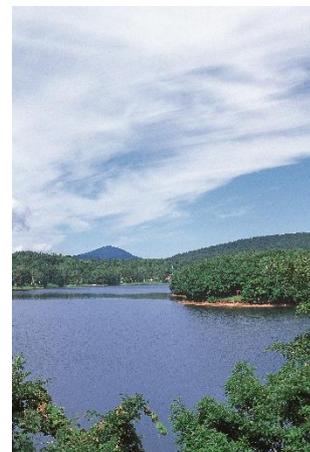
明治9（1876）年、岩手県令により設立された「県営外山牧場」が、産馬会社、組合運営を経て、明治24（1891）年に「宮内省外山御料牧場」となりました。それ以降30有余年続いたのちに廃止され、大正11

（1922）年に「岩手県種畜牧場」となり、現在は、岩手県農業研究センター畜産研究所外山研究室となっています。民謡「外山節」の発祥の地、現在の「岩手県立盛岡農業高等学校」の発祥の地としても知られています。



##### ●岩洞湖（がんだうこ）

盛岡駅から車で約1時間の水と緑のオアシスです。外山早坂高原県立自然公園に位置する岩洞湖は、中禅寺湖、湖岸線は十和田湖に匹敵する大きさを誇る、日本で最も美しい人造湖といわれています。また、岩洞湖のほとりにミズバショウ、レンゲツツジ、スズランなど、季節ごとに美しい花々が咲き、春はワラビやフキ、ゼンマイなどの山菜、秋はきのこが豊富です。さらに澄みきった湖水にはサクラマス、ヘラブナ、コイ、ワカサギなど、釣りファンを魅了する恵みが豊富で、年間を通して自然とのふれあいが楽しめます。



●石川啄木（いしかわたくぼく）

石川啄木、本名石川一（はじめ）が渋民から約 10 km 離れた日戸の常光寺に生まれたのは、明治 19（1886）年 2 月 20 日のことでした。産声を上げた八畳の部屋は今も残っています。一家が渋民の宝徳寺へ引っ越したのは、明治 20（1887）年 3 月のことでした。ここで啄木は幼少年時代を過ごし、そしてまたペンネーム「啄木」が生まれました。現在も啄木の書斎が残り、境内のサクラの大木には啄木鳥（キツツキ）がやってきて、近くで、あるいは遠くで樹木を叩く音は、静かな林に響き渡ります。



石川啄木記念館提供

●木造十一面観音立像

（もくぞうじゅういちめんかんのりゅうぞう）他東楽寺には 11～12 世紀の作とみられる木造十一面観音立像と、木造仁王像 2 体、木造十一面観菩薩立像 5 体、付木造立像 1 体の計 9 体の平安仏が、県指定文化財として安置されています。ナタ彫りらしい素朴な一木造りで、特に身の丈 366 cm の十一面観音立像は、県内で 2 番目の大きさで、堂々とした風格に、おおらかな表情を浮かべています。



木像十一面観音立像（左）と  
木像十一面観音菩薩立像

### ●玉山のシダレアカマツ

玉山字祝の沢にあるシダレアカマツは、樹齢約170年、根元幹回り2.8メートル、高さ24.5メートルもあります。枝が枝垂れ性になっているため、枝張りは10メートルにもなりますが、極めて細みなのが特徴です。本州西部から朝鮮半島の地域でまれに見られる珍しいアカマツで、県指定天然記念物に指定されています。



### ●一里塚（いちりづか）

江戸時代の玉山地域には、奥州道中や盛岡と沿岸を運ぶ脇街道の野田街道が通り、奥州道中筋の洪民、野田街道筋の藪川は、宿駅として伝馬の継立所が置かれ、酒屋や宿屋などで賑わっていました。そんな時代の名残が、土を盛り上げて道のりの目印とした一里塚です。野田街道筋に6箇所、奥州道中筋に4箇所の計10箇所あり、その中の10基が県指定文化財となっています。



新塚一里塚

## 5 玉山地域の文化財

### 【県指定文化財】

名称	所在地	点数	指定年月日
木造十一面観音立像	玉山字一笠	1	昭和 29 年 4 月 5 日
木造仁王像	玉山字一笠	2	昭和 49 年 2 月 15 日
木造十一面観音菩薩立像 付木造立像	玉山字一笠	5	昭和 49 年 2 月 15 日
末崎川一里塚	藪川字末崎川	2	昭和 51 年 3 月 23 日
毘沙門堂平一里塚	藪川字逆川	1	昭和 51 年 3 月 23 日
塚の沢一里塚	藪川字外山	2	昭和 51 年 3 月 23 日
大橋一里塚	藪川字亀橋	3	昭和 51 年 3 月 23 日
小野松一里塚	上田字松屋敷他	2	昭和 51 年 3 月 23 日
新塚一里塚	芋田字芋田	1	昭和 51 年 3 月 23 日
玉山のシダレアカマツ	玉山字祝の沢	1	昭和 49 年 2 月 15 日

### 【市指定文化財】

名称	所在地	点数	指定年月日
玉山館	玉山字館	1	昭和 48 年 2 月 16 日
経塚一字一石一礼塔	寺林字梨木平	1	昭和 48 年 2 月 16 日
川又不動明王立像	川又字赤坂	1	昭和 52 年 3 月 12 日
山谷川目菩薩立像	玉山字中里	1	昭和 52 年 3 月 12 日
玉山神楽	玉山字田畑	1	平成 2 年 6 月 1 日
日戸神楽	日戸字中平	1	平成 2 年 6 月 1 日
旧洪民尋常小学校	洪民字洪民	1	平成 7 年 3 月 30 日
旧齊藤家	洪民字洪民	1	平成 7 年 3 月 30 日
桑畑七ツ踊り	巻堀字桑畑	1	平成 9 年 4 月 23 日
外山駒踊り	藪川字外山	1	平成 9 年 4 月 23 日
藪川神楽	藪川字外山	1	平成 20 年 7 月 4 日
巻堀神楽	巻堀字巻堀	1	平成 20 年 7 月 4 日
松内神楽	松内字松内	1	平成 20 年 7 月 4 日
下田田植踊	下田字下田	1	平成 20 年 7 月 4 日
釘ノ平念仏剣舞	川又字釘ノ平	1	平成 20 年 7 月 4 日
澤目さんさ踊	洪民字岩の沢	1	平成 20 年 7 月 4 日

【玉山地域の主要文化財】

種類	名称	所在地	概要
建造物付	玉山十一面観音堂棟札	玉山字館	江戸時代の棟札 5 枚ほか
史跡	小石川遺跡	藪川字外山	旧石器時代の散布地
史跡	乙女石一里塚	藪川字大の平	野田街道一里塚
史跡	笹平一里塚	門前寺字笹平	奥州道中一里塚
史跡	一笠塚盛	玉山字日影	塚
史跡	釜崎遺跡	好摩字野中	奈良期の住居跡
史跡	永井沢遺跡	永井字永井沢	奈良期の住居跡、古墳跡
史跡	日戸館	日戸字古屋敷	中世館跡
史跡	下田館	下田字生出袋	中世館跡
彫刻	日戸十一面観音立像	日戸字古屋敷	江戸時代以前の作、後補修
民俗	来光院資料	巻堀字巻堀	天台山伏資料一式
民俗	民俗衣（スツパ）	巻堀字巻堀	刺子、型染の装飾的野良着 (県指定)

【玉山地域の民俗芸能】

団体名	概要	創立年代
日戸神楽保存会	日戸八幡宮（8月15日）奉納神楽。下厨川片原の日吉朝覧から伝授	明治8年
巻堀神楽伝承会	巻堀神社の奉納神楽。盛岡の多賀神楽から伝授	明治元年
玉山神楽保存会	天台山伏熊野青宝院創始。姫神岳神社（祭礼9月14日）奉納神楽	不詳
桑畑七ツ踊り保存会	文化8年の剣舞伝承書有り	文化8年
釘ノ平念仏剣舞保存会	高帽山新山権現別当が創始	安政3年
藪川神楽保存会	文政3年見前から伝授された明楽院神楽。住吉神社の奉納神楽	文政3年
下田田植踊保存会	門前寺から伝授、昭和45年再興	明治中期
外山駒踊り保存会	九戸大野村から伝授、外山牧場の神社に奉納、昭和49年再興	大正14年
松内神楽保存会	馬場熊野山万宝院神楽。明治25年松内山後に移り継承	不詳
澤目さんさ踊保存会	荒屋八郎が創始、継承している	大正期

## 6 地域住民等の意識調査

平成 29 年度に、これまで主に玉山地域で、生涯学習のほか、様々な分野で地域づくりに携われてきた方々、地元商工業関係の方々、NPO などの組織を結成し、新たな視点で地域の発展に取り組んでいる方々があり、個別にヒアリングを実施した結果、本事業や施設の将来像等に対して、次のような意見がありました。

### (1) 啄木に関する市民活動・取組みについて

- ・しぶたみ啄木会、白蕨短歌会、自治会での勉強会等、現在でも啄木に関する活動を行う団体があるが、中には高齢化が進んでいる団体もある。
- ・「短歌甲子園」や啄木祭、IGR いわて銀河鉄道をはじめ、地域各所や家庭にも啄木の歌を貼る活動等、啄木による地域活性化の取組みがなされているが、啄木祭に関しては、地元からの参加者が少ないという課題がある。

### (2) 啄木以外の市民活動や取組みについて

- ・イベント等は開催されるが、玉山地域内住民の参加率が悪い現状がある。
- ・一方、30～40 代世代が中心となって、玉山地域の活性化に取り組んでいる団体がある。
- ・地域のガイドや講師ができる人材はいる。
- ・観光客に向けて、地域の資源・お宝マップの作成や、グッズ販売等の取組みがなされている。
- ・地域活性化に向けて、農業体験を実施。林業体験の開催も検討している。

### (3) 玉山地域の既存施設の現状について

- ・啄木記念館（以下、記念館）、歴史民俗資料館（以下、資料館）には、地元の人に来ていない。
- ・記念館や資料館は、代わり映えがしないため、リピーターがいらないのではないか。
- ・駐車場もなく入りづらい。
- ・公民館は、地域の人々の利用があるが、屋外広場はあまり使われていない。

### (4) 新施設への要望について

- ・まちのお宝を保管し、玉山地域の歴史が分かる場、玉山らしさが分かる場にしてほしい。
- ・敷居を下げ、一般の人でも興味が湧くような施設にしてほしい。
- ・啄木の人間的な部分にもフォーカスしたらよいのではないか。
- ・啄木になりきって歌を詠むなど、体験的な要素が必要。

- ・「道の駅」や商店街へも人が流れるような一貫性のある計画をつくってほしい。
- ・地域の学校の生徒や市民活動における作品を発表できる場にしてはどうか。

**(5) 地域特性や歴史、資源について**

- ・地域の歴史や文化、食材、お宝など、地域独自の魅力が存在することを、地域の方は認識しており、それを残したい、発信したいとの思いがある。

**(6) その他の要望について**

- ・団体客に対応できる食事処がない。商店街などで対応できないか？
- ・商店街も活性化されるようにしてほしい。
- ・地域の魅力を向上させ、地域内外から人を集めてほしい。
- ・外国人観光客への対応を考えてほしい。
- ・四季折々の行事があるとよい。

## 7 玉山歴史民俗資料館・石川啄木記念館 基本計画策定懇話会委員名簿

	区分	所属	氏名
会長	博物館・郷土史関係	盛岡大学文学部教授	熊谷 常正
副会長	文学関係	石川啄木記念館長	森 義真
委員	行政・地域関係	元玉山総合事務所事務長	小原 俊彦
委員	行政・地域関係	玉山地域自治会連絡協議会長	佐々木 由勝
委員	文学関係	盛岡大学文学部准教授	塩谷 昌弘
委員	博物館・郷土史関係	元渋民公民館長 元玉山歴史民俗資料館長	竹田 俊光

石川啄木記念館・玉山歴史民俗資料館整備基本計画

令和3年2月

発行 盛岡市教育委員会

編集 盛岡市教育委員会事務局 歴史文化課  
〒020-8532 岩手県盛岡市津志田 14-37-2